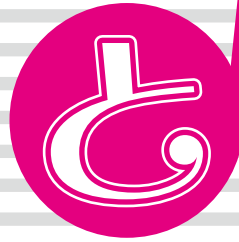




平成31年2月1日発行

No.6



ごあいさつ

県母子部会長 田口 茂子

新年を迎え、皆様におかれましてはお元気で過ごしのこととお慶び申し上げます。平成三十年度の親子ふれあい会では、地区の違う子ども達が仲良く話をしている姿を見ることができて嬉しくなりました。また、ひとり親家庭サポーターのつどいでは「いくらかかるの？子どもの教育」と題してご講演頂きました。関心の高い教育費の事を実例を交えて分かり易く話していただき大変勉強になりました。

このような事業を盛大に開催できましたのも皆様方のご協力のお蔭と感謝申し上げます。

私は母子部長になって、関東地区母子寡婦福祉研修大会や全国研修大会等に参加させて頂いておりますが、各研修会の開会式では秩父宮妃殿下御歌「母に幸あれ」を合唱します。「あらし世の 風に堪へつつ 手ひとつに 子をそだてゆく 母に幸あれ 母に幸あれ」と、私は少し涙してしみじみとした思いで唄います。夫を病気で亡くし、栃木県ひとり親家庭福祉連合会の会員になって25年、会員にならなければ知る事ができなかった情報を得て、会員だから受けられた支援、何より精神的支援が私を救ってくれました。子どもの修学資金、私のパソコン研修は今の仕事に役立っています。私達親子の生活が安定し穏やかに暮らせているのは、会のお蔭と感謝の思いで一杯です。「母に幸あれ」この歌を知る事ができたのも会員になったからです。私の応援歌となりました。

最後に、支え合い助け合える栃木県ひとり親家庭福祉連合会の益々の発展を祈念してごあいさついたします。

とちぎの子ども育成憲章

栃木県では、“子どもを育むための大人の基本理念や行動指針”として、平成22年2月に「とちぎの子ども育成憲章」を制定しました。

この憲章は、県民が力を合わせて子どもたちを健全に育てていくために、大人が具体的に取る姿勢を分かりやすく示しています。とちぎの子どもを健全に育むためには、県民が一体となって、力を合わせて取り組む必要があります。そこで、家庭、学校、職場、地域では、大人はそれぞれの立場で、例えば、親は親の立場で、企業は、企業としての立場で何ができるのかを考え、憲章の理念・指針に沿った行動を実践していくことが大切です。

子どもたちが夢や希望を持ち心豊かでたくましく成長するために、私たち大人が積極的に子どもたちと関わっていきましょう。

なお、毎年7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月は「子供・若者育成支援強化月間」となっております。



頑張ってます！

各市町母子会の活動状況や頑張っているお母さん、子どもたちを紹介します。

* 塩谷地区連合体 高根沢町・さくら市 *

芸術の秋、読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋・・・沢山の秋を感じている時に、私達の会は「ヨガ講座」を開催いたしました。

リラクゼーション音楽の流れる中、基本の安楽座からスタートです。ゆっくりと呼吸をしながら身体をほぐし温めていきます。足の指先の一本一本まで時間をかけてほぐします。猫のポーズ、三角のポーズ、ねじりのポーズ、コブラのポーズ、立木のポーズ、スフィンクス・・・etc

優雅にポーズを決める先生と先輩達。あの柔軟性がとても羨ましかったです。カチカチの体の持ち主も数名。私はその中の代表です。ヨガはハードな動きではありませんが、他のスポーツと同じで、いきなりはダメです。急いでしまうとケガの元です。最後は安楽座のポーズをとりながら瞑想です。「皆さん、身も心もリラックスできたでしょうか？」と、先生がおっしゃった頃には、参加者一同スッキリとした顔になっていました。2時間の講座でしたが、あっという間の時間を感じられました。



私達は普段から時間に追われ、いつもバタバタしています。たまには立ち止まり、ゆっくりと呼吸を整え自分を癒す時間を持つことも大切だと思いました。

ヨガの後は、みんなでテーブルを囲み近況を話しながら食欲の秋を堪能しました。(笑)



(橋本 真澄)

* 那珂川町 *

10月13日(土)、那珂川町福祉まつりに参加しました。みそおでんと手編みのルームシューズの販売です。

7月の猛暑の中、皆さん集まって教え合いルームシューズを編みました。それから3ヶ月の間に各自コツコツと編んでたくさんのおいしいルームシューズが集まりました。みそおでんも当日朝早くから準備してみそだれも手作りし美味しいみそおでんになりました。皆さんの力でみそおでんは完売しルームシューズもたくさん売れ売れ上げを寄付することができました。

一緒に作って販売して一体感と達成感で今年も充実した福祉まつりとなりました。

(石川 美奈子)



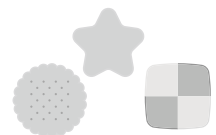
* 栃木市 *

台風12号の影響で前日ギリギリまで迷いましたが、7月29日にバス旅行でながわ水遊園に行ってきました。

当日は台風一過で晴れてとても暑い一日となりました。行きバスの中ではクイズをしながら盛り上がり、1時間半の行程があっという間に感じられました。会場に着き、まずは味わい工房で親子でバタークッキーを作りました。皆同じ魚の型抜きで作ったはずなのに、それぞれに個性が出ていて形が少し違っていてもおもしろかったです。クッキーが焼ける間に、水族館の見学をすることになり、大人も子どももワクワクしながら水槽に見入っていました。初めて見る魚や大きな魚に歓声を上げ何度も会場を回る子どもや、隠れていたイグアナを発見し気づかなかった子に得意気に教えたりと、和気あいあいとした時間を過ごす事ができました。

最後に焼き上がったクッキーを貰いお土産として持ち帰り、心もお腹も満たされ楽しい思い出ができました。

(M・I)



親子ふれあい会

H
30
・
10
・
6
(土)

10月6日土曜日、国営ひたち海浜公園に行きました。

足利市の参加者は最初46名でしたが、仕事や子どもの病気などで26名の参加になりました。キャンセルが多くて関係者の方々にはご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。ともあれ秋晴れの空の下、広い園内親子仲睦まじく遊ぶ姿が見受けられました。園内が広いので疲れた親子やまだ遊び足りない子ども達もいた様です。コキアはまだ紅葉には早く、真っ赤とは言えませんが、見晴らしの丘全体に咲いていて、コスモスも花を添えてとても素晴らしい眺めでした。私は付き添い一人でしたので、県内各地区の母子部長さん達と園を見て回り、昼食時には地区の話等をしてこれからの参考にしたいと思いました。どこの地区も問題がある様です。私は若年部長ですが年は66歳です。若い人への世代交代が必要になりました。これからも色々な事業を企画して母子の方の気持ちが掴める魅力ある会になる様にしたいと思っております。

今回の親子ふれあい会は天候に恵まれて楽しい有意義な行事でした。

(足利市 M・M)

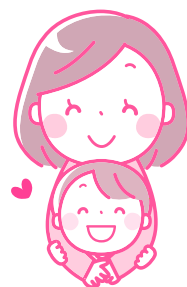
前から楽しみにしていた、ひたち海浜公園へ行ってきました。1週間前から楽しみで、おやつを買いに行ったり、前日はいつもより早寝をして準備しました。

当日はバスで行きました。同じ学校の6年生のやさしいお姉さんと、その日にお友達になった4年生の女の子と一緒に迷路や観覧車、ジェットコースターに乗りました。いつもはこわくて乗れない乗り物もお友達と一緒にだったので乗れました。でもこわかったです。帰りにみんなでおそろいのキーホルダーを買いました。帰りのバスでは、ママやお友達は寝ていましたがわたしはお菓子を食べていました。とても楽しい1日でした。

(佐野市 山崎 莉生・紗奈)

親子ふれあい会で、ひたち海浜公園に行きました。すごく広くてびっくりしました。遊園地やアスレチック、園内を一周するシーサイドトレインに乗って海を見ることができました。その中で一番楽しかったのは、アスレチックです。自然いっぱいの中で体を動かしてとても気持ちよかったです。サイクリングも楽しそうだったので、また行ったときはやってみたいです。とても楽しい1日でした。

(栃木市 大嶋 絢斗)



ひとり親家庭サポーターのつどい H30・11・4(日)

【講演】

いくらかかるの？子どもの教育「ひとり親のための教育費と子育ての話」と題して、NPO法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ 理事 ファイナンシャルプランナー なかじまともみ氏の講演を聞きました。

皆さんは子どもが大学を卒業するまでにいくらかかるとお考えですか？10人中8人が何らかの形で大学、専門学校に進学する時代です。一人につきおおよそ1,000万円かかると言われています。ひと口に1,000万円と言われても、そのお金をどうしていいかわからない人もいます。なかじま先生のお話の中で、お金がないから学校に行かせない、教育を受けられないと言うのは絶対に言わないようにすると決めた、と言っていました。私も同じ考えで子どもを教育しました。

ひとり親家庭の皆さんは苦しい日常を送られている方も大勢いると思います。先生のお話の中で、色々な貸付、奨学金の方法があるとお聞きしました。ですから皆さんも諦めずに教育をしてください。お金を借りて教育を受けることは恥ずかしいことではありません。自分の身についた教育は財産になります。なかじま先生がおっしゃっていたように、履歴書に書ける資格は自分の勲章です。努力の証しです。本日は有り難いことに、1冊500円の教育費サポートブックを頂きました。色々な制度が書かれておりますので参考してみてください。

最後に私ごとですが、うちの子どもは日本政策金融公庫から借入して大学を卒業しました。大学在学中は、私が利息を払い卒業してからは息子が毎月4万円ずつ返済しました。今年9月に完済し、息子がほっとしたと言っていました。今、息子は元気に働いています。大学に行って本当に良かったと言っています。勉強は自分を磨くためにするものです。どうぞひとり親だからと言って諦めずに子どもの教育頑張ってください。

(壬生町 森尻 真理)



講師
なかじま ともみ氏

11月4日、パーティホールにてひとり親家庭サポーターのつどいが開催されました。今回のテーマは、子どもの教育費についてです。現在中二の息子がいる私としては、大変興味深いテーマでした。

「ひとり親のための教育費と子育ての話」と題した、講師なかじまともみさんの講演は、ご自身の体験に基づく具体的な学費の資料が用意されており、大変参考になるものでした。教育費がかかるとわかっていても、目の前に出される数字を実際に見るとその額にため息が出てしまいます。子どもの置かれている家庭環境で進学を断念するのは、親としても大変心苦しいことです。

では、その教育費をどうやって準備するのでしょうか。貯蓄、借入れ、奨学金等、様々な方法を紹介していただきました。知らないこともあり、非常に参考になる内容でした。

また、講演では教育費の話だけでなくライフプランの話もありました。ライフプランの重要性、10年後の自分、老後について、様々なことを視野に入れ、改めて自分の将来を考える必要性を感じました。

ひとり親として、子どもの教育費は重要な課題です。ひとりでも多くの方に聞いてほしい講演内容でした。今回残念ながら参加できなかった方には参加した私達から伝えたいと思います。(鹿沼市 野呂 江身子)

ひとり親家庭サポーターのつどい



編

集

後

記

平成最後の発行となる「ぶちとまとNo. 6」をお届けします。

新元号に変わっても平和で安心して暮らせる世の中が続くことを願うばかりです。

今年も健康で前向きに活動したいと考えておりますので皆様のご協力宜しくお願いいたします。

